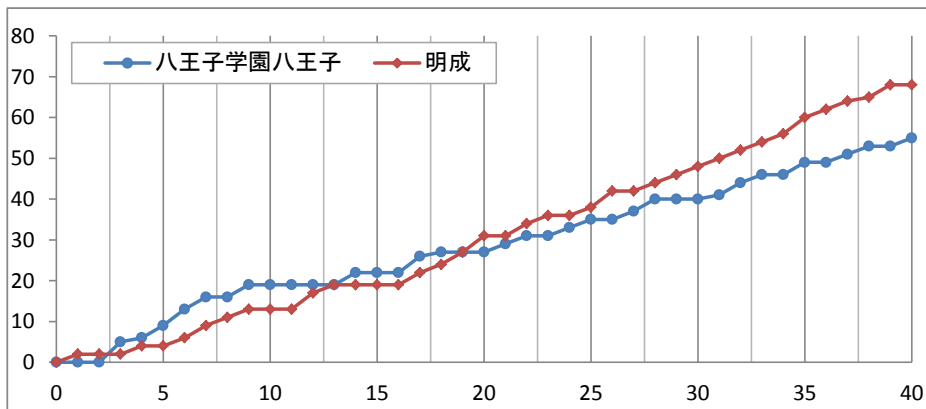


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 3回戦 八王子学園八王子 55 (東京) ● 68 明成 ○ (宮城)

主審 渡邊 整
副審 飯尾 勝紀

No. 31c1 日時: 2013年7月31日(水) 10:00 会場: 別府アリーナ



八王子学園八王子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新号 健 (C)	20	4	2	4	1
5	* 安藤 俊樹	7	1	1	2	1
6	清水 太一	4	0	2	0	1
7	* ソレイマン ゲイ	13	0	6	1	1
8	宮崎 一誠	0	0	0	0	0
9	* 野間 進太郎	5	0	1	3	0
10	高山 椋	-	-	-	-	-
11	* 高橋 雄太	6	2	0	0	0
12	久米 真司	0	0	0	0	0
13	稲川 翔平	-	-	-	-	-
14	小林 一輝	-	-	-	-	-
15	新屋 広晃	-	-	-	-	-
コーチ	石川 淳一					
合計		55	7	12	10	4

明成

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 金子 大希	0	0	0	0	1
5	阿部 元樹	-	-	-	-	-
6	* 植村 哲也	18	0	9	0	2
7	森川 文弥	0	0	0	0	0
8	納見 悠仁	-	-	-	-	-
9	築井 良知	16	0	8	0	3
10	* 白戸 大聖	17	3	4	0	2
11	* 宮本 滉希 (C)	2	0	1	0	1
12	柳川 知之	-	-	-	-	-
13	松本 健寛	3	0	1	1	0
14	* 八村 壘	12	0	6	0	3
15	三上 侑希	-	-	-	-	-
コーチ	佐藤 久夫					
合計		68	3	29	1	12

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド明成はハーフコートマンツーマンDef、八王子は2-3ゾーンDefでスタート。序盤、八王子学園八王子はテンポの良い攻撃で、#4の速攻や連続3P、#11の3Pで波に乗る。明成はリバウンドから速いボール運びで、八王子Defの裏を狙うが、シュートがリングに嫌われ苦しい展開。タイムアウト明け、明成は#10の3Pで落ち着きを取り戻すとシュートが決まりだし19-13八王子リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド八王子はマンツーマンDef。八王子は高さを生かし#7を中心に攻めるが、Defのプレッシャーが強くて得点に結びつかない。明成は#10の1対1などでじりじりと追い上げ、一進一退の攻防が続く。明成は#6のドライブを皮切りに、#13のドライブや#10の3Pで同点に追いつくと、激しいDefルーズボールからの速攻が決まり残り1分逆転に成功。八王子はOffの起点である#4にボールを持たせてもらえず、苦しい展開のまま27-31で前半終了。第3ピリオド八王子は、#9、#5が積極的に1対1をしかけすぐに同点に追いつくと、明成も#10の3P、#11のシュートで応戦、スピーディーな激しい攻防が続く。明成は#6の速攻や#14のゴール下への合わせで点差を広げようとするが、八王子も#4の3Pや#7の高さを生かしたプレイで食い下がり、40-48明成リードで第3ピリオド終了。第4ピリオド八王子は#9のドライブ、#7のポストプレイで巻き返しをはかる。明成は#6のジャンプシュート、#10のミドルシュートで差を広げ、残り6分10点差で八王子タイムアウト。八王子は厳しいDefに苦しみながらも、#4のドライブや#7のポストプレイで追いかけるが、点差が縮まらない。残り3分11点差、八王子オールコートでプレッシャーをかけるが、明成は冷静なボール運びで確実に得点し、55-68で試合終了。明成がすきのないディフェンスと巧みな試合運びで準々決勝に進出した。

© 2013 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

田北 俊郎 (所属) 大分県バスケットボール協会